


かながわ
女性の不安・困りごと相談室

家庭や生活上の悩み一人で抱え込まず
相談してみませんか



鶴見の地に佇む徳雄山建功寺第18世住職であり、庭園デザイナーとしても活躍する柘野俊明さん。国内はもとよりイギリス、シンガポール、中国、オーストラリア、アメリカ…と、海外でも多くの庭園デザインを手がけている。なぜ海外でも「禅の庭」が求められるのか。庭が表現する価値観とは？

京都の庭にカルチャーショック

私は生まれ育ったのも鶴見、修行も鶴見の曹洞宗大本山總持寺でした。この辺りもずいぶん変わりました。昔は田んぼと畑ばかり、バスも通っていませんでした。子どものころは山の中を走り回り木の実を採って食べたり、秘密基地をつくったり。あとはチャンバラごっこですね。横浜駅の西口には砂利の山が積まれていて、お店もなく、あったのは屋台だけ。東口の方には造船関係の工場がありました。時々連れて行ってもらったのは山下公園や元町、山手の辺り。ほかの街にはないエキゾチックな雰囲気が横浜らしく好きでした。

小学5年生の時、両親に連れられて京都の龍安寺や大徳寺大仙院の庭を見た時、なんてきれいな庭なんだ、と衝撃を受けました。自分が生まれ育った建功寺の環境とあまりにも違っていたのです。建功寺の庭は、明治時代の廃仏毀釈で荒れ、戦時中は耕して畑に、戦後は農地改革もあり、美しくするどころではなかったようです。

いつかは建功寺も、京都で見たような庭を兼ね備えた寺にしなければいけない。それが庭に興味を持ったきっかけでした。

庭園デザイナーを名乗る

建功寺の庭の整備をお願いしたのが、後に私を弟子にくださった造園家の齊藤勝雄先生でした。高校生だった私は齊藤先生について回り、お仕事ぶりを見て、これは面白そうだと、やってみようかと。大学生の夏休みも春休みもずっと先生の仕事の現場での庭づくりと設計を学びました。休みの最後の10日間は一人京都の庭を見て歩き、気になったところはメジャーで測ってスケッチして。そんなことを4年間続けました。

長男でしたので、お寺を継ぐのだからという思いは小さいころから無意識のうちにありました。お盆やお彼岸でお手伝いをして

いると、お檀家さんが私の頭をなでながら「将来頼むぞ」と言ってくれたり。

住職をしながら祖父は新聞記者、父はNHKのアナウンサーや番組制作をしていました。父は何度か転勤があり、寺のおつとめとの両立に苦労したようです。私も庭園の仕事をするのを選びました。その仕事が認められ、40代半ばで芸術選奨新人賞をいただくこととなり、文化庁から肩書をどうしましょうかと連絡がありました。そのくらい、当時庭づくりの仕事は社会的に認識されていなかったんですね。審査員の皆さんのおっしゃる通りで結構ですとお答えし、付けてくださったのが「庭園デザイナー」。それからそう名乗るようになった次第です。

「禅の庭」は「生活の踊り場」

海外でも禅に興味を持つ方が増えていきます。本当の豊かさとは何かということに、皆さん気づき始めたのです。物があれば豊かだという意識が浸透していましたが、物質的に豊かになっても満足することを知らない。もっともっとという「我欲」。心のメタボです。その脂肪を削ぎ落としていくと、真ん中にある一番美しく清らかで、一点の曇りもない心が見えてくる。それに寄り添って生きていくのが禅の教えです。

芸術の世界では、西洋は目に見えるものを100%表しますが、日本はその背後にある精神性を大切にします。見えるところが3割、見えないところが7割。その7割を大切に。「禅の庭」とは精神空間、日本の伝統的な美意識や価値観を凝縮した空間なのです。

現代の人々はスピードに追われるように暮らしています。立ち止まって庭を眺め、慌ただしい日常を一度断ち切り、時を忘れる。庭は「生活の踊り場」です。

私自身も、仕事を終えてここに戻り、庭を眺めると本当にほっとします。



vol.99
ヨコハマ想い

住職/庭園デザイナー
柘野 俊明さん
Masuno Shunmyo

1953年、横浜市生まれ。大学在学中より造園家・齊藤勝雄氏に師事。1999年文化庁主催芸術選奨文部大臣新人賞受賞、2005年カナダ総督褒章、2006年ドイツ連邦共和国功労勲章功勞十字小綬章受章。2006年ニューズウィーク日本版『世界が尊敬する日本人100人』に選出。多摩美術大学教授。著書多数。毎日曜日7時からの坐禅会は現在コロナ禍にて休止中、再開はHPにてお知らせ。
HP <http://www.kenkohji.jp/k/>

「無心」。心をとどめないこと。一つのことにとどまると、周囲が見えなくなります。心をとどめずにいれば、自ずといろいろなことが見えてきます。

500年続く本堂を

傷みが激しくなっていた建功寺の本堂を建て替えることとなり、500年先まで手直しのいらぬものをつくることを念頭に置きました。日本の伝統技術を継承していけるよう、職人さんに存分に腕を振るっていただきたく、宮大工さん、瓦屋さん、左官屋さん…と、全て私どもで気概のある職人さんを個々にお願ひしました。

「皆さんの情熱と技術が明日へ伝える文化財をつくる」と板に大きくスローガンを書いて掲げました。職人さん同士、互いに仕事ぶりを見ては刺激し合って、「負けてられない」と。皆さん口々に「将来解体された時に『昔の職人はこんなに手の込んだことをしておっしゃっていました。構想に13年半、着工から6年半、昨年2月に完成しました。』

修行とは「丁寧に暮らすこと」

コロナ禍前は寺で「花まつりフェスタ」やコンサートを開いていました。たくさんの方に足を運んでいただいて。かつて寺とは文化の中心地、寺子屋はじめ現在の地域センターや学校のような役割も担っていました。ですから折々に、お寺ってこんなこともやっているんだと感じていただき、敷居が低くなればという思いです。

「行住坐臥」。歩いてもとどまっても座っても寝ても、24時間全てが修行。坐禅をしている時だけ、お経を上げている時だけが修行ではないのです。禅の考え方とは生活そのもの。今風に申し上げると「心を込めて丁寧に暮らす」ということ。禅の修行とはどなたでも生活に取り入れられるものです。そのことをもっともっと皆さんに知っていただきたいと願っています。

そうめんセット、うどんセットの2種類から自由に組み合わせて注文できます！

今だけ！
弊社で初めてご購入の方限定で1箱

各 **830円** (税込)
+送料別途330円(税込)

組み合わせ自由/
2箱以上で
送料無料

組み合わせ自由/
4箱ご購入で
3,000円 (税込)

お申込みはお電話から！ 電話受付/8:30~17:00(土日祝休)

☎050-1866-0612

かも川手延素麺株式会社 〒719-0241岡山県浅口市鴨方町小坂東1719-1

●お支払い方法:2箱までは商品同梱の振込用紙にて、到着後10日以内にコンビニ又は郵便局でお支払いください(郵便局の場合、手数料110円がかかります。)3箱以上は代金引換です。※代引手数料は弊社が負担します。●北海道、沖縄は3箱以上ご購入の場合、別途送料660円(税込)がかかります。●2回目以降のご注文は、通常価格となります。●お試し商品につき、熨斗包装等致しかねます。●ご自宅へのお届けのみとさせていただきます。●お客様事由による返品・交換は致しかねます。●お預かりした個人情報商品の発送・サービスのご案内のみに使用いたします。



滑らかな舌触りで
コシのある手延べそうめん

もちもちの食感とど越しを追求した
手延べうどん

お申込締切日
本日より1週間

1000箱 限定

手延べ麺の本場岡山から
そうめん・うどん
食べ比べセット

そうめんセット1箱<約7人前>

定価 **2,070円** (税込)

●手延べそうめん 250g×2袋
●一番のぼしうどん 250g×1袋
<賞味期限:3年6ヶ月>

うどんセット1箱<約6人前>

定価 **1,800円** (税込)

●手延べざるうどん 220g×1袋
●一番のぼしうどん 220g×2袋
<賞味期限:2年>